

塾・講座を選ぶ前に聞く10の質問

保護者の方向け。説明会や面談にそのまま持って行けるようにしました。誠実なところほど、はっきり答えてくれます。右の欄に、聞いた答えをメモしてください。

#	質問（確かめたいこと）	Aのメモ	Bのメモ
1	評価の基準を、文書でもらえますか。 「よくなった」で終わらせない仕組みがあるかどうか。基準が文書で出てくるところは、説明ができる状態にあるということです。		
2	いまの出来を、点数や段階で示してもらえますか。 点で出せないなら、進んだかどうかを家庭で確認する方法がありません。		
3	担当は誰で、何人の生徒を見ていますか。 担当が固定か交代制か、1人あたり何人かで、見てもらえる量が変わります。		
4	志望校の判断は、誰がどうやって決めますか。 書類の出来と志望校の関係を、誰がどの材料で判断するのか。ここが曖昧な説明は要注意です。		
5	原稿はどこまで手を入れますか。本人が書きますか。 大人が書いた文章は、面接で本人が説明できず崩れます。どこまでを本人がやるかを最初に確認してください。		
6	途中でやめた場合、費用はどうなりますか。 中途解約の条件は契約前に。年間一括の場合はとくに確認が必要です。		
7	提示されている合格実績は、どう数えていますか。 延べ人数か実人数か、専願の指定校を含むか。同じ「合格〇名」でも中身が違います。		
8	うちの子の場合、いちばん弱いのはどこですか。 その場で具体的に答えられるかどうか。答えが一般論なら、まだ見られていない可能性があります。		
9	追加の費用が発生するのはどういうときですか。 講習・面接練習・直前対策が別料金になっていることがあります。		
10	他の人の意見も聞いていいですか。 嫌がるところは、比べられて困る理由があるかもしれません。良い先生ほど「どんどん見せてください」と言います。		

家庭でやると逆効果になりやすいこと

親が原稿に手を入れる

大人が書いた文は、読む側にはすぐ分かります。それ以上に、面接で本人が説明できません。手伝うなら「この話、いつのこと？」と質問する側に回ってください。

盛る

実際より大きい数字や役職を書くと、面接で崩れます。等身大でも、具体的であれば十分に評価されます。

他の子と比べる

この入試は、比べる相手が本来いません。だからこそ、外部の点数のような客観的な材料を1つ置いたほうが、家庭内の会話が落ち着きます。

志望校を先に固定する

書類の出来を見てから、出す大学を調整することは普通にあります。9月まで動かせる余地を残しておいてください。

くわしい説明：sogogata-moshi.com/guide/parents/